

平の家 (2002年)

いわき市平の市街地に建つ住宅。コンセプトは『Like a Bar』

隠れ家的な住宅らしくない住宅を目指した建物である。住居内にストリートを配し石貼りとしている。寝室、台所はタイル貼、その他床材は無垢材を使用し1階部分は黒色、2階部分は白色のオスモで塗装している。内装は1階については壁、天井とも珪藻土塗（珪藻土ウチカ）、2階は壁、天井共石灰クリーム塗と左官工事を多用した。リビングはあえて小さく、ほの暗く落ち着いた雰囲気を出している。

キッチンは業務用を用いてオープンにし衛生面、作業効率に配慮した。照明器具等も店舗用を選択している。敷地が街の中心部であるためコートハウスのような要素を取り入れ中庭を配しているが、ここに植えた楓が季節を教えてくれると共に居間と寝室のクッションを役目を果たしてくれている。

工事面では車を止める場所が無かったり、資材の搬入が大変で資材の置き場に苦労した記憶がある。



敷地が軟弱な地盤であるため鋼製杭を使用している。外廻りには枕木を採用した。

外壁のガルバリウム鋼板の硬さが消えないかと窓廻りに木枠を工夫したが、これがなかなか効いたようである。



内部建具及び玄関ドアは輸入建具を用いているが、どうも造作をしたほうが良いようである。

さて、うまく隠れ家となってくれたか？

Data

所在地：福島県いわき市内

家族構成：夫婦+子供二人

構造規模：木造在来工法、二階建て

設計監理：吉田敏彦建築設計室